

平成29年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	認定特定非営利活動法人 AIDSネットワーク横浜	
(今回の助成金交付額)	AIDSボランティア学校 開催事業	
団体代表者	代表理事 笹田 克子	
事業の目的	HIVについての多方面からの講演を展開し、関心の高揚、正確な知識の伝達、偏見・不安の解消につなげる。 到達目標: 各回、本会会員(主に電話相談員)以外の参加者を20名以上獲得するとともに、学校・医療・福祉・介護・行政関係者の参加を目指す。	
事業の達成度	会員以外の参加者を毎回20名以上は達成できなかったが、延べ参加者数は過去5年間平均127名に対して223名と倍近くに増加し、多様な職種の参加は達成でき、年齢層も大学生から退職者まで幅広く、目的とした効果は十分期待できる。	
事業実績	対象となった人数(実質)	講座参加者延べ223名(会員106、会員外117)。
	具体的な活動内容	<p>4月～5月 内容の最終決定・講師依頼・調整 講座は毎回午前、午後2時間ずつの2講座</p> <p>5月 チラシ・ポスターの作成(自作)・配布 配布先: 横浜市全保健福祉センター、同市民活動支援センター 横浜市内看護・医療系専門学校・横浜市付近医療系大学 交流団体、市内大手訪問看護ステーション 他 ネットの掲示板などへの掲載依頼 募集、応募受付</p> <p>6月 応募状況の確認、開催会場の決定 会場は横浜AIDS市民活動センター会議室とし、AIDS文化フォーラムで開催する 3日目 は県民センターとする。</p> <p>7月1日 第1日目開催 ① 多様な性 安達 倭雅子 (“人間と性”教育研究協議会幹事) 20名 ② HIV/AIDSの現在 北村 勝彦 (横浜聖隷病院小児科) 16名</p> <p>7月15日 第2日目開催 ③ HIVの検査 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所) 18名 ④ HIV感染者の方のお話 佐藤 郁夫 (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス) 19名</p> <p>8月6日 第3日目開催 ⑤ HIV感染者の分娩と未受診妊婦の問題 水主川 純 (聖マリアンヌ医大病院産科副部長) 54名 ⑥ 性感染症にご注意! 井戸田 一朗 (新宿 しらかば診療所院長) 45名</p> <p>8月26日 第4日目開催 ⑦ 感染者、患者の看護と介護 宮林 優子 (横浜市民病院感染症科看護師) 12名 ⑧ 感染者・患者の生活とソーシャルワーカーの役割 友田 安政 (横浜市大付属病院) 12名</p> <p>9月9日 第5日目開催 ⑨ カウンセリングから見る 13名 ⑩ カウンセリングの方法 14名 共に 小島 賢一 (荻窪病院血液科 臨床心理士)</p> <p>・募集は開校日の前日までのため、適宜メールやFAXでの申し込みを確認。 ・午前の講師の都合がつけば、昼食は受講者と共に近隣で会食とした。 (水主川、宮林、小島の各氏)</p>

第2日目 佐野貴子先生講座 横浜AIDS市民活動センター



第3日目 水主川純先生講座 神奈川県民センター



ホームページアドレス <http://www.netpro.ne.jp/~any/>
講座のプログラム、募集要項などは「ボランティア学校」からご覧いただけます。
ボランティア学校の総括は11月以降にはHPのニュースレターに掲載予定です。